



大阪市立 小路小学校

校長名 伊藤 浩史

所在地 〒544 - 0002 大阪市生野区小路2-24-40

電話 06-6752-0061 FAX 06-6751-8751

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671489>



主な学校行事

4月	入学式
5月	家庭訪問 校外学習 土曜授業（防災・引取訓練）
6月	臨海学習
7月	期末懇談会 ラジオ体操（PTA行事）
8月	PTA校庭キャンプ（PTA行事） 小路たそがれカーニバル（地域行事）
9月	学校公開
10月	運動会 校外学習 学習参観 就学時健康診断 修学旅行
11月	創立150周年記念式典・音楽発表会（土曜授業）
12月	期末懇談会 クリスマス会（地域行事）
1月	学習参観
2月	国際理解発表会 小路っ子マダン入学説明会 学校保健委員会 卒業遠足 小路ふゆまつり（PTA行事）
3月	卒業を祝う会（児童会行事） 卒業式

教育目標

「つながり合い、認め合い、学び合う教育の創造」

標準服

無

重点目標

- 豊かな心をはぐくむ教育
 - ・安全で安心できる学校教育環境の実現
 - ・音楽を親しむ機会の創出
 - ・外国人教育（国際クラブ・国際理解教育）の推進
- 学力向上に向けた教育
 - ・ICTを活用した教育の推進
 - ・思考力・判断力・表現力の基盤となる言語力の育成
 - ・専門性を高め、指導力を高める研修

校訓

- ・心も からだも すこやかな子ども
- ・何でも 進んでやる子ども
- ・思いやりのある子ども

令和4年度全国学力・学習状況調査

● 平均正答率（％）

国 語	算 数	理 科
62	63	65

● 結果概要

大阪市の平均正答率に比べ、国語科、算数科ともに大阪府・全国との平均正答率の差は大変小さくなり、特に算数科においては大阪府を1ポイント上回り、全国との差も0.2ポイント程度となっている。しかし、平均無解答率ではどの教科においても高く、特に国語科の記述形式については20%を超える無解答率となっている。また、算数科、国語科ともに、記述形式特に自分の考えを説明する問題での無解答率は、他の形式の問題より高い結果であった。国語科については、「読むこと」について大阪府の平均正答率との差はほとんどなく、普段の学習の積み重ねの成果が表れているといえる。算数科については「数と計算」では大阪府や全国を上回る正答率となっている。習熟度別少人数やTT授業を積極的に取り入れ指導をしている。また、「学力向上支援チーム事業」等を活用して放課後学習を毎日実施していることが着実に計算力向上が図られている。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

国語科については、漢字の定着を図るために、朝学や家庭学習を工夫したり、AIドリルを活用していく。また、授業の中で自分の考えをまとめ、書く活動を積極的に取り入れ、交流することで、苦手の児童も書けるように指導していく必要がある。これまでの読書活動や新聞を活用した取り組みは、一人一台端末を使った「e-ライブラリー」「デジタル新聞」も併せて今後も継続していく。

算数科については、国語科同様に自分の考えを持ち、意見交流ができるような「主体的で対話的で深い学び」となるような授業改善を組織的に取り組む。そのような授業改善をすることで、児童の「思考力・判断力・表現力」を育てることにつながる。また、一人一台端末を有効に活用して意見交流をしたりひとりひとりの児童が自分の学びをふりかえりを行う授業を日常化したりしていくことが必要である。算数科の基礎学力の定着を図る取り組みは、今後も継続していく。

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

● 種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (回数)	20mシャトルラン (回数)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	19.43	18.96	35.38	35.04	48.39	9.40	149.33	25.33	53.10
女子	18.76	17.41	40.65	33.59	36.06	9.46	142.18	12.29	54.06

● 結果の概要

男子の結果を見ると、「反復横とび」以外すべてにおいて大阪市の平均値を超え、全国の平均値と比べても「反復横とび」「立ち幅とび」以外の6項目は上回ることができた。「体力合計点」においても大阪市・全国の平均値を上回ることができた。女子の結果を見ると、「握力」「長座体前屈」「50m走」の3項目において全国の平均値を超え、大阪市と比べるとさらに「20mシャトルラン」「立ち幅とび」を加え5項目で平均値を上回ることができた。「体力合計点」においてはわずかに全国平均には及ばなかったが大阪市の平均値を超えることができた。男女ともに「握力」「長座体前屈」は全国を大きく上回り、一方「反復横とび」は大きく下回っている。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

昨年度までは、毎年体力テストの柔軟性(長座体前屈)の数値が低く、校内調査での「身体をしっかりと動かしている」に対する肯定的な回答が7割に満たないことが本校の課題であった。

そこで柔軟性を高めることを学校全体の目標とし、体育科の授業の始めや終わりにはそれに関する運動を取り入れるようにしてきた。また、学級での「みんな遊び」を工夫し児童が運動に親しめるような取り組みをしたり、集会・運動委員会が中心となって、20分休みに遊びの会を企画し、鬼ごっこやドッジボールをみんなで楽しめるようにした。その結果、「長座体前屈」の数値が伸びた。全国的な運動能力は高くても柔軟性の低い児童が多く運動能力のバランスが悪い傾向であった点が改善した。3年生から6年生の経年調査の児童質問紙における「運動が好き」と回答する児童は、5年生の令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣など調査」の87%と比べると平均72%と低い。今後は、どの学年においても「運動が好き」と回答する児童の割合を増えるよう取り組みを進めていく。

校長先生のメッセージ

明治6年11月15日に設立し、令和5年度には創立150年目を迎えた歴史の古い学校である。地域とのつながりが深く、「子どもは地域の宝」を合言葉に、学校、保護者、地域一体となって子どもを育てていこうとする姿勢に支えられた学校である。

一人一台タブレット端末やICT機器、AIドリルの積極的な活用を図ったり、Teamsによる双方向通信の取組を推進したりすることにより、ICTを活用した学習活動にも積極的に取り組んでいる。また、音楽発表会や音楽集会などの音楽活動にも力を入れ、心の教育にも積極的に取り組んでいる。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

- ・「小路あたりまえ10か条」を設定し、あたりまえのことをあたりまえにできる心の育成
- ・基礎基本の学力の定着と自己肯定感を高め、学ぶ意欲を高める授業改善
- ・音楽教育と生活指導の充実による「思いやりのある子ども」の育成

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・令和5年度小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。
- ・令和5年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
- ・令和5年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・令和5年度の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- ・令和5年度末の校内調査における「『小路あたりまえ10か条』を守ることができた」に対して、最も肯定的な「できた」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・令和5年度小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動

- を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を32%以上とする。
- ・令和5年度小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。
- ・令和5年度小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
- ・令和5年度小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
- ・令和5年度小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を74%以上にする。

学校園の年度目標

- ・令和5年度小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの対象学年も前年度より3ポイント減少させる。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

ICTの活用に関する目標

- ・オンラインによる学習を年に2単位時間以上実施する。
- ・令和5年度末の校内調査における「学習者用端末を使うことができますか」に対して、最も肯定的な「できる」と回答する2年生以上の児童の割合を90%以上にする。

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

■ 音楽活動の取組

本校では、日々の音楽科の授業に加え、音楽発表会（学年ごとの演奏や全校合唱など）や「本物」に触れる音楽鑑賞会など様々な取組を行っている。また、課外活動として「小路鼓笛隊」があり、活発に活動している。このような音楽活動により、子どもたちに「できた!」「楽しい!」という達成感、充実感を味わわせ、友達とかかわり合い、高め合う学びの場とすることができている。



特色ある学習活動

■ 国際クラブと日本語教室

本校には国際クラブ（民族学級・中国学級）があり、学校全体で国際社会を生き抜くための国際理解教育にも取り組んでいる。さらに、近年中国をはじめ様々な国や地域にルーツを持つ子どもが入学しており、これからの国際社会の縮図として多文化共生教育にも取り組んでいる一方、日本の伝統的文化的学習にも力を入れている。また、本校には日本語教室が設置されており、本校の子どもだけでなく日本語指導の必要な他校の子どもたちも学んでいる。



家庭・地域等との連携

■ PTA、地域との連携

学校施設を利用した校庭キャンプや冬まつりなどの PTA 主催行事や、小路たそがれカーニバルなどの地域主催行事などが多く行われている。コロナ禍で活動が難しい中でも、感染対策を取りながら、「星空映画観賞会」や「ラジオ体操」などが工夫して実施され、「子どもたちのために」を合言葉に熱心な活動が行われてきた。また、地域の方々をゲストティーチャーに招いた取組なども多く、PTA や地域とのつながりが深い。さらに、登下校の見守り活動だけでなく、集団下校時の安全確保のための協力など、本校は「子どもは地域の宝」と子どもたちを守り、そして支えてくださる地域にある学校である。



特色ある学習活動

■ スキルアップテストや日本語検定、子ども新聞を使った学習の取組

本校では、基礎基本の学力の定着を図るため、朝学の時間やモジュールタイムを活用して、算数の基礎計算や日本語検定に向けた学習、子ども新聞を読んで自分の考えをまとめる学習などに取り組んでいる。また、新聞閲覧コーナーや読書コーナーを教室前に設け、自由に読めるようにすることで、子どもたちが言葉や文章に触れる機会を多くもてるよう努めている。

家庭・地域等との連携

■ 豊富な課外活動

本校には伝統ある課外活動クラブ「小路鼓笛隊」があり、体育施設開放事業として放課後の学校施設を利用したサッカー、ミニバスケットボール、ドッジボールも行われている。また、進学中学の東生野中学校グラウンドではラグビースクールも行われている。多くの子どもたちが参加しており、多様な活動に主体的に参加することができている。

